

## 第四章 艦船部隊 其ノ二(陸上部隊)

### 第一節 二十七、八年戰役前時代

明治初年已來陸上部隊ニ關スル諸制度ノ變革改定等極メテ頻繁ニ行ハレ殆ド倂指ニ遑無キ狀勢ニアリ

從ツテ之等ノ全幅ヲ調査スルガ如キハ元ヨリ本章ノ目的ニアラザルガ故ニ主トシテ直接水雷術ニ關係アル諸部隊官廳(既記ノモノヲ除ク)ニ就キ其ノ一般ヲ述ブルニ止メムトス

我國ニ於テ水雷術ニ關係アル陸上部隊ハ明治十九年一月水雷局ノ廢止ニ代フルニ水雷武庫及水雷術練習艦迅鯨ノ創始ト共ニ水雷營ヲ長浦ニ置キ横須賀鎮守府ニ屬セシメラレタルニ始マル即チ明治十九年二月二十五日要第六四號ニ依リ長浦水雷營條例ヲ定メラル其ノ要綱左ノ如シ

長浦水雷營條例(摘要)

- 一、長浦水雷營ハ横須賀鎮守府ニ屬シ水雷隊ヲ屯在セシメ之ヲ訓練スル所トス
- 二、水雷隊ハ水雷術練習艦ニ於テ本業セル兵曹水兵ヲ以テ編制ス
- 三、水雷隊ハ攻守水雷ノ事ニ服從シ又水雷兵トシテ乘艦スルモノトス
- 四、水雷營ニ隊外トシテ准士官、下士卒衛夫ヲ置ク
- 五、水雷營ニ水雷船及若干ノ船艇ヲ屬ス
- 六、營長ハ部下諸員ヲ統率訓練シ軍紀風紀ヲ維持シ營務ヲ監理ス
- 七、營長ハ水雷武庫主事或ハ水雷術練習艦長ノ要スルトキハ水雷隊員ヲシテ水雷術練習艦或ハ水雷武庫ノ業務ニ從事セシムベシ又水雷隊ヲ練習スルトキハ水雷術練習艦或ハ水雷武庫ニ助力ヲ求ムルコトヲ得
- 八、副長ハ營長ヲ補佐シ營務ヲ整理シ營長ノ命令ヲ執行シ營内ノ定則ヲ維持シ水雷隊ヲ訓練スルヲ任トス
- 九、分隊長ハ隊員ノ軍紀風紀ヲ維持シ其ノ行狀伎倆ヲ熟知シ操練作業ニ奮勵從事セシメ且隊員ニ係ル事務ヲ掌理ス
- 十、機關長ハ機關工、上長木工、上長火夫長、艀治長、塗工長、兵器工長以下諸員ヲ統ヘ軍紀風紀ヲ維持シ其ノ行狀伎倆ヲ熟知ス

ベシ

十二、水雷營定員中此ノ條例ニ於テ其ノ職務ヲ掲記セザル者ハ總テ軍艦職員條例ニ同ジ

即チ水雷營ノ任務及本質ハ必ズシモ軍港防備等ヲ主掌スルニアラズシテ却ツテ水雷術練習艦或ハ水雷武庫ニ助力シ尙隊員ヲ訓練スルニ在リシモノノ如ク寧ロ同年四月二十六日公布ノ鎮守府官制ニ於ケル軍港司令部ノ任ナリキ即チ水雷營長モ亦防備上ノ所要ニ應ジ軍港司令官ノ指揮ヲ受クル如ク定メラレタリ試ミニ鎮守府官制中軍港司令部(軍港司令官)ノ所掌ヲ摘記セバ左ノ如シ

一、各軍港ニ軍港司令部ヲ置キ其ノ部下ニ豫備艦部水雷部航海部ヲ置キ其ノ職員ヲ定ムルコト左ノ如シ

水雷部 水雷司令 二人 佐官

水雷副司令 二人 大尉

豫備艦部略  
航海部

二、軍港司令官ハ艦船營兵員及海軍所屬ノ砲臺ヲ指揮シ軍港ノ守備ヲ掌ル

三、軍港司令官ハ軍紀風紀ヲ維持シ所屬軍人軍屬ノ訓練教育ヲ監督ス

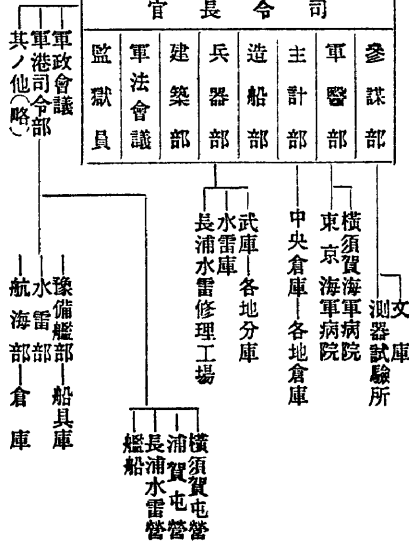
四、水雷司令ハ軍港司令官ノ命ヲ承ケ攻撃水雷及防禦水雷ニ關スル事項竝ニ水雷艇隊及敷設水雷ノ

指揮ヲ掌ル

五、水雷副司令ハ司令ヲ補佐シ其ノ主務ヲ整理ス

〔参考〕 一、鎮守府官司令定ニヨル當時ノ指揮隷屬關係ヲ横須賀鎮守府ニ就キ示セバ左ノ如シ

横須賀鎮守府					
司令官					
參謀部	軍醫部	主計部	造船部	兵器部	建築部
監獄員	軍法會議				



二、軍港司令部ハ明治二十六年五月鎮守府條例改正ニ伴ヒ之ヲ廢ス

同二十二年四月十六日水雷隊條例ヲ公布セラル左ノ如シ

水雷隊條例

- 一、軍港要港ニ漸次水雷隊ヲ置ク
- 二、水雷隊ハ海軍區ノ區域ニ依リ各鎮守府ヲシテ管轄セシム
- 三、水雷隊ニ司令ヲ置ク佐官ヲ以テ之ニ補ス
- 四、軍港ノ水雷隊司令ハ軍港司令官ニ隸シ要港ノ水雷隊司令ハ直ニ其ノ所管鎮守府司令長官ニ隸シ部下ヲ監督訓練シ水雷、水雷艇其ノ他ノ要具ヲ整備シ近海ノ水路ヲ熟知シ軍港要港ノ守備ニ任ズ

五、水雷隊ハ佐尉官、機關士、軍醫、主計、准士官、下士卒若干名ヲ以テ編制ス其ノ定員ハ軍港要港ノ形勢ニ應ジテ別ニ之ヲ定ム  
〔參考〕

同年五月二十八日鎮守府官制ヲ廢止シ鎮守府條例ヲ裁可公布セラレシガ同條例中防備ニ關係アル軍港要港司令官ノ所掌ト水雷隊トノ關涉ヲ示セバ左ノ如シ

一、鎮守府ニ軍港司令官一人ヲ置キ少將又ハ大佐ヲ以テ之ニ補シ司令長官ノ命ヲ承ケ軍港ニ在ル鎮守府艦船海兵團及水雷隊ヲ指揮シ軍港ノ守備ヲ掌リ士卒ノ教育訓練ヲ監督セシム

二、軍港司令官ハ豫備艦長知港事、副知、港事ヲ指揮監督ス

三、軍港司令官ハ軍港ノ守備ニ關シ陸軍司令官ト共力ヲ要スルコトアルトキハ協議ノ責ニ任ズ

四、要港ニ要港司令官ヲ置クトキハ水雷隊司令官ハ之ニ隸スルモノトス

而シテ水雷隊條例制定公布ノ理由トシテ舉示セルモノ左ノ如シ

水雷隊ヲ設備スルヲ要スル軍港ハ横須賀、吳、佐世保其ノ他後來第四第五海軍區ノ鎮守府ヲ設立セラルベキノ地ナリ要港ハ對島、竹敷港、下ノ關海峽、釣島水道、長崎港、苦ヶ島海峽、鳥羽港、大隅瀨島ノ大島、ノ如キ敵國艦隊ノ手中ニ落チレバ我ニ大害アリ敵國ノ艦隊ヲ通過セシメザレバ我ニ大不利アルノ場所ナリ之等ノ諸港ニ水底敷設水雷其ノ他諸種ノ水雷及水雷艇ヲ置キ敵艦ノ近ヅクアレバ水雷艇ヲ出シテ之ヲ攻撃シ彼ノ迫り來リテ港口ヲ通過セントスルニ當リテハ水底ノ水雷ヲ爆發シテ以テ之ヲ破壊スルノ備ヲ爲スハ水雷隊ノ用ナリ今諸港ニ備フベキ水雷、水雷艇其ノ他ノ要具ハ去ル十九年度以降海軍公債ノ一部ヲ以テ準備シタルニ依リ大半成ルヲ告グルニ至リ横須賀軍港用、對島竹敷要港用ノ如キハ已ニ整備シ隊員ノ配置定マルトキハ忽チ水雷防禦ヲ實施スルヲ得ルニ至レリ是本條例ノ上載ヲ仰グ理由ナリ

斯クテ二十二年五月横須賀及竹敷ニ二十三年三月佐世保ニ水雷隊ヲ置キ横須賀水雷隊ヲシテ東京灣口ノ防備ニ竹敷水雷隊ヲシテ對島ノ警備ニ佐世保水雷隊ヲシテ佐世保軍港ノ防禦ニ任セシム是ニ於テ吳、佐世保兩鎮守府ノ開廳ト共ニ海軍ノ規模漸ク定マリ海防ノ實亦擧ラントスルニ至レリ

同二十三年三月二十四日水雷隊敷設部規則ヲ定ム之ヨリ先キ水雷隊創始以來水雷艇ヲ主體トスルモノト敷設水雷ヲ主體トスルニ様ノ水雷隊ノ對立ヲ見タリシヲ以テ其ノ後者ニ對シ任務職責ヲシテ名實相伴ハシムルノ目的ニ出デシモノナリ同規則摘要左ノ如シ(既記第三章第二、三節參照)

水雷隊敷設部規則(摘要)

- 一、水雷隊敷設部ノ紀律及日課ハ軍艦ニ準ス
- 二、水雷隊敷設部員ハ若干分隊ニ編制シ其ノ列外員ハ分隊ニ分屬ス
- 三、水雷敷設部ノ兵曹及一、二等水兵ハ掌水雷兵ヲ以テ之ニ充テ機關手ハ水雷術練習艦卒業ノ者ヲ以テ之ニ充ツ
- 四、水雷隊司令ハ軍港司令官若クハ要港司令官ノ命ヲ受ケ部下ヲ監督シ軍紀風紀ヲ維持シ隊中ノ事務ヲ總理ス
- 五、水雷隊司令ハ軍港司令官若クハ要港司令官ノ命ヲ受ケ水雷裝備及敷設ノ部員ヲ定メ緩急其ノ機ヲ誤ラザランコトヲ務ムベシ
- 六、水雷隊司令ハ常ニ敷設諸部員ノ得失ヲ考察シ意見アルトキハ之ヲ軍港司令官若クハ要港司令官ニ具申スベシ
- 七、分隊長ハ隊員ノ勤怠及行狀ヲ監視シ分隊ノ事務ヲ掌理ス
- 八、分隊長ハ司令ノ命ヲ受ケ水雷艇其ノ他ノ船艇及要具ヲ分擔整頓ス
- 九、分隊長ハ各部員ノ長トナリ部員之ヲ統督シ各自負擔ノ兵器要具ヲ整頓セシムベシ
- 十、機關長ハ其ノ部下諸員ノ勤怠及行狀ヲ監視シ又水雷艇其ノ他船艇ノ機關及魚形水雷、電氣燈ノ機關ニ係ルコトヲ掌理ス
- 十一、上等兵曹ハ各分隊ニ分屬シ分隊長ノ命ヲ承ケ隊務ニ從事シ又水雷夫ノ教授ニ從事ス
- 十二、機關師ハ水雷艇其ノ他船艇ノ機關ノコトヲ分擔ス
- 十三、要具掛タル機關部ハ魚形水雷及電氣燈ニ係ル機關及其ノ屬具並ニ水雷具庫ヲ保護整頓ス
- 十四、水雷隊敷設部定員中此規則ニ掲記セザル者ノ職務ハ總テ軍艦職員條例ニ依ル

同日水雷營ヲ廢ス

(備考) 二十六年五月軍港司令部ノ廢止ト共ニ水雷隊ハ司令長官直屬トナレリ

同年三月二十六日海軍水雷夫徵募細則ヲ定メ之ヲ施行ス之レ先ニ帝國海岸防備計畫ノ大綱ヲ決定シ水雷隊ヲ漸次所要地ニ配備スルニ當リ之ガ定員タラシムベキ兵員ハ特種ノ壯丁ヲ徵募スルヲ可トスルノ見地ニ由ルモノニシテ其ノ細則ノ一班ヲ掲記セバ左ノ如シ

海軍水雷夫徵募細則摘要

- 一、水雷夫ハ水雷隊ヲ置ク地ノ附近ノ地ニ於テ徵募スルモノトス
  - 二、鎮守府司令長官ハ水雷隊司令ヲシテ徵募事務ヲ管セシメ分隊長以下ヲ派出シ志願人ヲ検査シ採用セシム
  - 三、志願人ハ左項ノ一ニ適合ノ者タルベシ
    - イ、海軍豫備役後備役ニ在ル者
    - ロ、舟夫又ハ一箇年以上舟夫ノ業ニ従事シタル者
    - ハ、漁夫又ハ一箇年以上漁夫ノ業ニ従事シタル者
  - 四、志願人身幹五尺ニ達シ身體完全強健精神異狀無キ者ヲ合格トシ否ラザル者ヲ不合格トス
- 水雷夫ノ教育ハ前記水雷隊敷設部規則ニ見ルガ如ク専ラ同部ノ擔任スルトコロニシテ水雷術練習艦ニ於ケル水雷術教育ヲ受ケタル中幹兵員ノ外大部ハ水雷夫ヲ以テ同部ノ任務遂行ヲ期セントスルニアリシガ明治二十五年ヲ以テ本制度ヲ廢止セララルルニ至レリ蓋シ其ノ素質概ネ不良不齊一ナルト人事取扱上ノ不便アリシガ故ナリ

同年八月十九日水雷隊配備ノ件ヲ裁可シ之ヲ公布セシメラル左ノ如シ

水雷隊配備表		所管鎮守府	防禦管區	敷設部	攻撃部	名稱	位置
備考	室蘭						
	舞鶴						
佐世保	對馬國竹敷近海	對馬國	二隊	一等水雷艇二隻	對馬水雷隊	對馬國竹敷	
	佐世保軍港	佐世保軍港	一隊	一等水雷艇五隻	佐世保水雷隊	佐世保	
吳	馬關海峽	馬關海峽			馬關水雷隊	未定	
	吳軍港	吳軍港		一等水雷艇四隻	吳水雷隊	吳	
橫須賀	東京灣口及橫須賀軍港	東京灣口及橫須賀軍港	二隊	一等水雷艇十三隻	橫須賀水雷隊	橫須賀軍港 内長浦	

(註) 一、本表敷設部、攻撃部ヲ通ジ二十七、八年戰役直前漸ク整備セラレタルモノニシテ例會ハ

竹敷ニ配スベキ水雷艇二隻ノ如キ漸ク二十五年ニ配屬ヲ見タルガ如シ

二、本表ノ外吳水雷隊ニ敷設部一隊ヲ追加セリ(二十七年六月)



三、本表公布後始メテ某水雷隊攻撃部司令、攻撃部艇長、某水雷隊敷設部司令、敷設部分隊長等ノ職制ヲ見ル